

「ながさキッズイングリッシュ」の活用

1 英語活動を進めるにあたって

- (1) 五感を使ったゲームや歌など、遊び的な要素を含んだ活動を展開しましょう。
- (2) 繰り返し行っているうちに自然に使えるよう英語に慣れ親しませる活動を展開しましょう。
- (3) 子どもの「したいこと」や「使ってみたいこと」を大切に活動を展開しましょう。
- (4) 異なる文化や生活に触れさせるような活動を展開しましょう。

2 英語活動のねらい

- (1) 身近で簡単な英語に慣れ親しむ。
- (2) 積極的にコミュニケーションを図り、進んで人と関わろうとする。
- (3) 外国の言葉や生活、文化に興味・関心を持つ。



3 英語活動の内容

- (1) 体験的な活動を通して楽しく学ぶ。
 - ・歌、チャンツ、ゲーム、ロールプレイ、ごっこ遊び、スキット 等
- (2) 身近な生活の中から題材を選び、より子どもの生活に結びつける。
 - ・乗り物、買い物、動物、スポーツ 等
- (3) 簡単な英語から日常生活で生かせる英語を取り入れる。
 - ・あいさつ、自己紹介、気持ち 等

4 英語活動を行うにあたって（配慮事項）

- (1) 授業のねらいを明確にする。
- (2) 子どもの実態や発達段階を踏まえる。
- (3) 同じ表現を用いた異なる活動を組み合わせる。
- (4) 単調にならないよう静と動の活動を意識して組み合わせる。
- (5) その他配慮すること。
 - ・中学校の英語教育を前倒ししたようなスキルの指導にならないこと。
 - ・文字を覚えることや暗記を強要しないこと。
 - ・誤りを細かに訂正しないこと。



5 「ながさキッズイングリッシュ」の取扱いについて

- (1) 「カリキュラム」は、次のような観点で系統的に配列しています。
 - ① Stepが上がるにつれて、扱う単語の数や表現のレベルも上げています。
 - ② Stepが上がるにつれて、子どもの生活場面や対人関係などを広げています。
 - ③ 県独自の英会話学習教材「Try This Now」の題材に関連したテーマを設定し、「Try This Now」のスキット編へ発展できる構成になっています。
 - ④ 各学校の実情に合ったStepから始めることができます。
- (2) 「活動展開例」は、基本的に担任単独で指導できるよう構成されています。
- (3) あいさつは「教室英語表現集」から、ゲームは「ゲーム集」から選んだり、子どもの実情に合わせてアレンジしたりして行ってください。
- (4) 複式学級で行う際は、子どもの実態に合わせて表現等のレベルを調整してください。
- (5) 本指導資料集を参考に、各学校のカリキュラムや活動案を作成してください。